



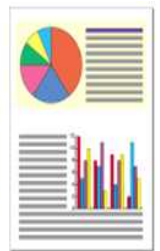
消費者の部屋通信

(平成27年11月号)

目次	☆ 特別展示の御紹介	1
	☆ 学校関係の訪問状況	3
	☆ 10月の消費者相談状況(速報)	4
	☆ 相談事例(10月分)	6
	☆ 地方の「消費者の部屋」だより	7



★10月18日は「統計の日」
★10月20日は「世界統計の日」



<特別展示>

ココロにうれしい、冷凍食品
(10月5日～10月9日開催)

<特別展示>

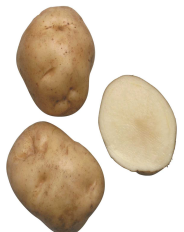
統計でみる「農林水産業の姿」
(10月13日～10月16日開催)



全国エコファーマーネットワーク

<特別展示>

環境保全に貢献するエコファーマー
の活動
～環境にやさしい農業を目指して～
(10月19日～10月23日開催)



<特別展示>

さつまいも・じゃがいもの週
～いもの魅力、再発見!～
(10月26日～10月30日開催)

- ◆ 「消費者の部屋」では、消費者の皆さまとコミュニケーションを深めるために、農林水産行政や食生活などについての情報提供などを行っています。また、農林水産省の本省北別館1階で行われる特別展示には、多くの方々に御来場いただいております。

☆ 特別展示の御紹介

●平成27年10月の開催状況

期 間	特別展示名	入場者数
10月5日～10月9日	ココロに美味しい、冷凍食品	1,335人
10月13日～10月16日	統計でみる「農林水産業の姿」	458人
10月19日～10月23日	環境保全に貢献するエコファーマーの活動 ～環境にやさしい農業を目指して～	1,146人
10月26日～10月30日	さつまいも・じゃがいもの週 ～いもの魅力、再発見！～	1,401人

●平成27年11月の特別展示

期 間	特別展示名
11月2日～11月6日	知っていますか？ スゴク美味しい「介護食品」！！
11月9日～11月13日	一皆さんの応援に感謝！！－ 岩手県・宮城県・福島県 農業農村復旧復興展
11月16日～11月20日	二人の間に花が咲きます ～感謝を込めて花を贈る、11月22日 いい夫婦の日～
11月24日～11月27日	玄そばの最高峰・茨城県常陸秋そば

※特別展示の開催日以外の期間は、常設展示を開催します。

◆ テーマ『ココロに美味しい、冷凍食品』 ◆

時間の余裕と心のゆとりを生む冷凍食品。衛生的で栄養や美味しさが保たれ、家庭のみならず給食や外食産業等でも使われていることについて、試食を交え紹介しました。



市販の商品を多数展示するとともに、冷凍食品の歴史や基礎知識についてパネルで紹介。冷凍食品〇×クイズも実施。



おかずやデザートなど、日替わりで試食を実施。

◆ テーマ『統計でみる「農林水産業の姿」』 ◆

日本の農林水産業の変化などについて、農林水産統計調査のデータからパネル等でわかりやすく紹介しました。併せて、水稻収穫量調査のしくみ、水稻作況調査について展示により紹介しました。



実際に水稻収穫量調査に使用する器具(小型脱穀機・小型もみすり機・粒数計測器・段ぶるい器)を展示。



千歯を使用したもみすり体験を実施。

◆ テーマ『環境保全に貢献するエコファーマーの活動』

～環境にやさしい農業を目指して～ ◆

環境に配慮した農業の推進に関する施策・エコファーマーの実践している技術と、それにより生産された農産物及び加工品・エコファーマー組織(全国エコファーマーネットワーク)の活動について紹介しました。



田んぼの生きもの(タナゴ・メダカ・沼ガイ等)を展示。



エコファーマーが生産した農産物及び加工品を多数展示。

◆ テーマ『 さつまいも・じゃがいもの週 ～いもの魅力、再発見！～』 ◆

さつまいも・じゃがいもが最もおいしい季節になりました。日頃店頭では見かけない品種とその特性を紹介するとともに、さつまいも・じゃがいもを使った製品や調理法の紹介、試食を行いました。



さまざまな品種のさつまいも・じゃがいも及び加工品を展示。



やきいも・干しいも・いもけんぴ・いもチップ等、さつまいも・じゃがいも製品を販売。

☆ 学校関係の訪問状況

「消費者の部屋」では、小・中・高校生などに対して、農林水産行政などをわかりやすく説明しています。平成27年10月の来訪者は以下のとおりです。



■ 平成27年10月の訪問	来訪者数
徳島県 鳴門教育大学附属中学校（2年）	9名
奈良県 近畿大学附属小学校（5年）	23名
北海道 帯広三条高等学校（2年）	14名
北海道 倶知安高等学校（2年）	5名
合 計 4校	51名

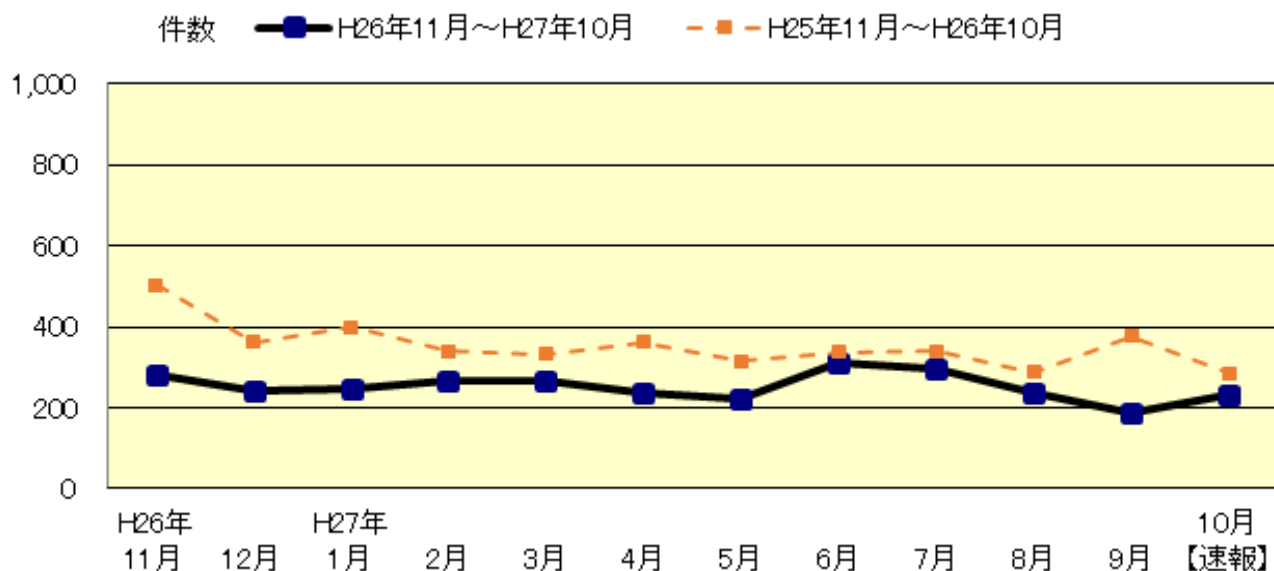
～ 修学旅行や社会科見学などの訪問をお待ちしています ～

☆ 10月の消費者相談状況（速報） ～電話やメールで御相談を受け付けています～



10月の相談件数は、233件（前月190件）でした。このうち、問合せは201件、要望・意見は26件、その他は6件となりました。

図1 月別相談件数の推移

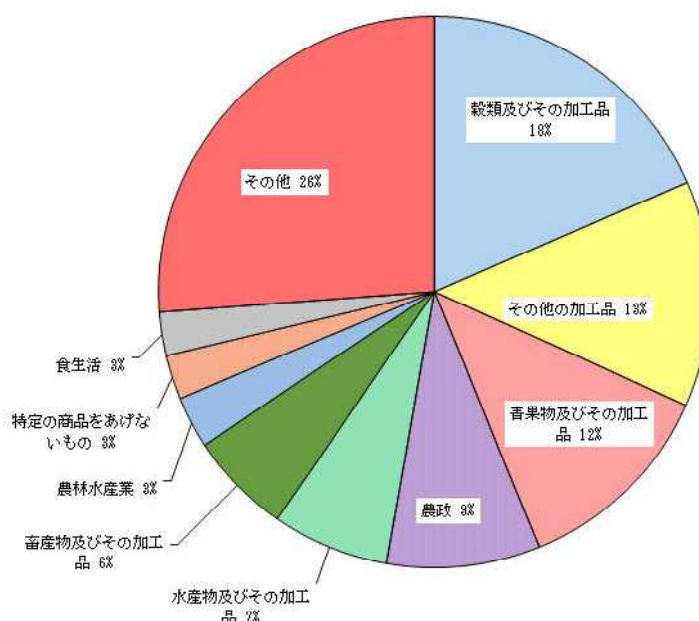


〔品目別相談件数〕

表1 品目別相談件数

	件数(前月件数)
穀類及びその加工品	43 (35)
その他の加工食品	31 (22)
青果物及びその加工品	28 (22)
農政	21 (16)
水産物及びその加工品	16 (16)
畜産物及びその加工品	14 (11)
農林水産業	7 (7)
特定の商品をおけないもの	6 (7)
食生活	6 (3)
その他	61 (51)
合計	233 (190)

図2 品目別相談比率

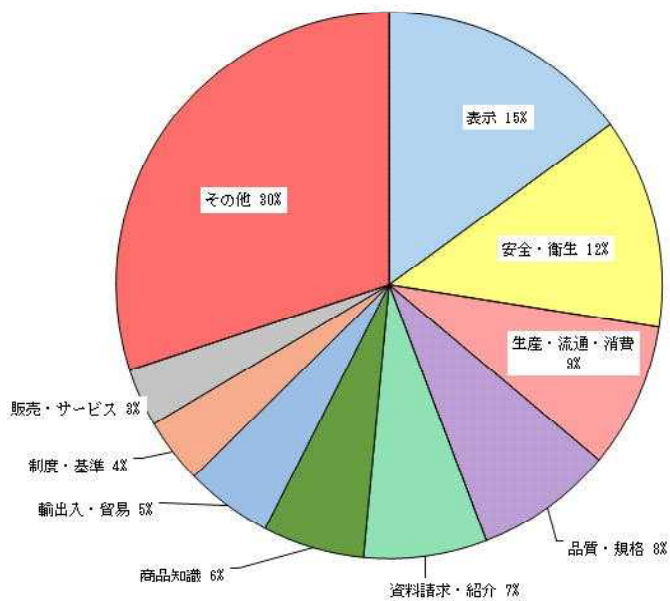


〔内容別相談件数〕

表2 内容別相談件数

	件数(前月件数)
表示	35 (21)
安全・衛生	29 (36)
生産・流通・消費	20 (9)
品質・規格	19 (15)
資料請求・照会	17 (18)
商品知識	14 (9)
輸出入・貿易	12 (9)
制度・基準	9 (13)
販売・サービス	8 (6)
その他	70 (54)
合計	233 (190)

図3 内容別相談比率

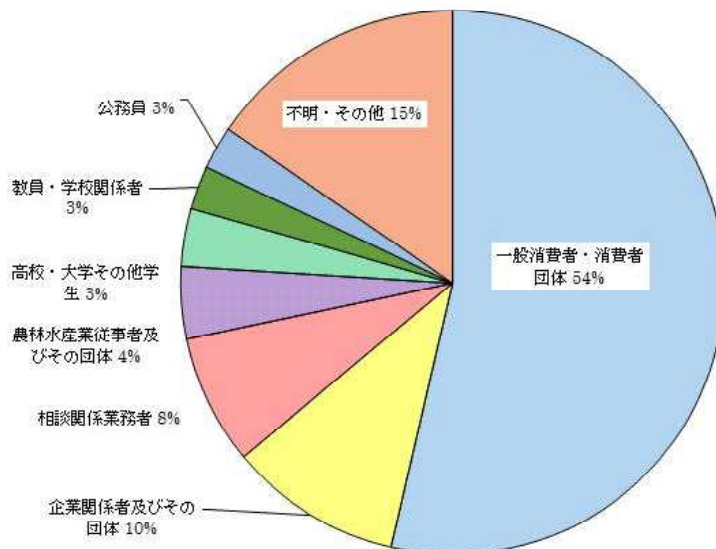


〔相談者別件数〕

表3 相談者別相談件数

	件数(前月件数)
一般消費者・消費者団体	125 (115)
企業関係者及びその団体	24 (20)
相談業務関係者	18 (22)
農林水産業者及びその団体	10 (9)
高校・大学その他学生	8 (5)
教員・学校関係者	6 (0)
公務員	6 (1)
不明・その他	36 (18)
合計	233 (190)

図4 相談者別相談比率



◆ 主な要望・意見

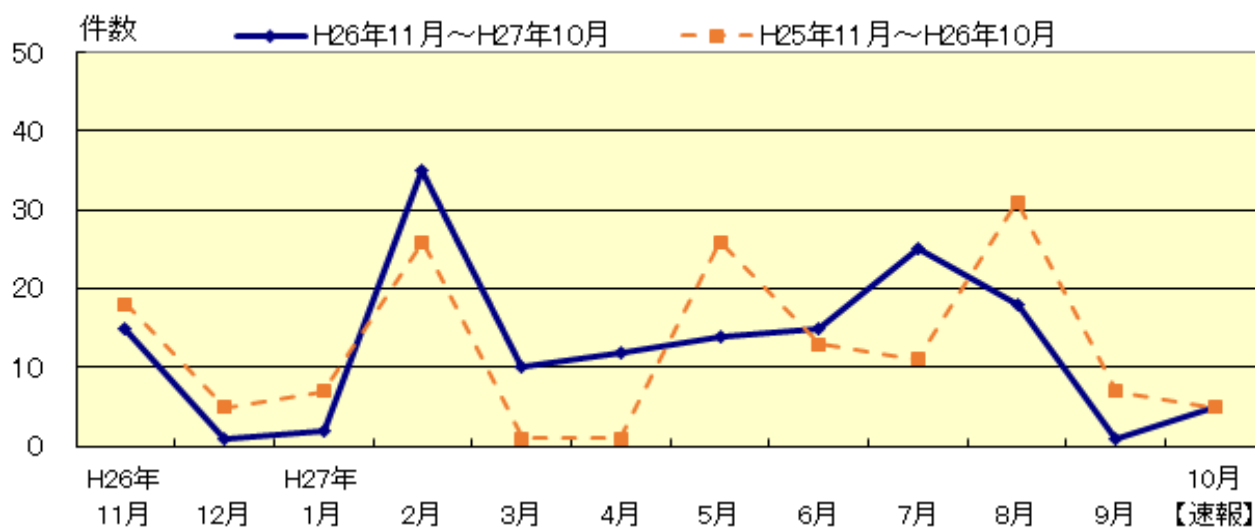
- * 天候による影響であることはわかっているが、キャベツの高騰が続いているのでなんとかしてほしい。
- * 食品の産地表示について外食産業でもっと厳しくすべき。
- * 減反をするよりおいしく品質のよいお米を増産し、輸出に力を入れてほしい。

【子ども相談】

子ども相談専用電話を設け、農林水産業や食品に関する子どもからの相談や質問にお答えしています。

10月の子ども相談件数は、前月より4件増加し、5件となりました。

図5 子ども相談件数の推移



☆ 相談事例（10月分）

Q カキのおいしい季節になりましたが、生産量はどのくらいですか。

A：カキ類は日本の沿岸に22種ほど知られ、小形なものや深海種を除いてすべて食用となりますが、市場に流通しているほとんどは養殖されたマガキです。マガキは日本の沿岸の岩礁にふつうにみられるカキで、大きさは殻長4cm、高さは7cmほどです。北海道産のものは貝殻が大きく、ナカガキ、エゾガキとよばれますが本州産のものと同じマガキです。広島湾で300年ほど前から養殖されていた記録がありますが、大正時代に垂下式養殖法が開発されて全国的に普及し、生産量も飛躍的に上がりました。

平成26年(概数値)のカキ類の養殖収穫量は全国で18万4100トンあり、主な産地は広島県(11万6700トン)、宮城県(2万900トン)となっています。

(参考資料：「食材図典」(小学館)「海面養殖業 大海区都道府県振興局別養殖魚種別収穫量」(平成26年概数値)(農林水産省))

☆ 地方の「消費者の部屋」だより

中国四国農政局 消費者の部屋

中国四国農政局「消費者の部屋」は、JR岡山駅から南へ徒歩7分、岡山第2合同庁舎1階に常設の展示コーナーを開設しています。また、庁舎の9階には消費者相談コーナーを設け、来訪者の相談対応を行っています。

【消費者の部屋】

消費者の部屋の常設展示コーナーでは、農林水産行政や食品安全行政等について情報提供を行うとともに、特別展示コーナーでは年間の展示計画によりテーマを定めて展示を行っています。

平成27年8月3日～28日の間には、夏休みの子ども達を対象にした消費者の部屋特別展示「夏休みに「食」と「農」について学習しよう！」を開催し、「食」と「農」に関するパネルやメダカの水槽展示、食育ぬりえ・「食べものはどこから来るの」の絵本を作るコーナーやパネルを見て答えるクイズラリーを実施しました。



消費者の部屋



夏休み特別展示

【移動消費者の部屋】

平成27年10月17日～18日に愛媛県松山市の松山大街道商店街で開催された「みんなの生活展2015」（主催：松山市・みんなの生活展連絡協議会）に移動消費者の部屋を出展しました。「学ぶことから始めよう！～豊かな暮らしを目指して～」をテーマとして、消費生活のあり方、環境への配慮、心身の健康についてよく考え「安全・安心に暮らせる社会」を実現することを目的に71団体が出展し、多くの人で賑わいました。

農政局では、食育の推進をテーマに、パネル展示やパンフレット配布を行うとともに、消費者相談コーナーを開設したほか、平成26年度に私たちが1日に食べたお米の量（151g）をすくう「お米計量クイズ」を実施しました。



移動消費者の部屋
松山市「みんなの生活展2015」

中国四国農政局 消費・安全部 消費生活課

〒700-8532 岡山県岡山市北区下石井1-4-1

TEL:086-224-9428 FAX:086-224-4530

☆ 消費者の部屋ホームページを御覧ください！

* 消費者の部屋のホームページ(<http://www.maff.go.jp/j/heya/>)から、さまざまな情報が御覧いただけます。ぜひアクセスしてみてください。

◇消費者相談

過去の主な相談事例を掲載しています。

◇特別展示の御案内

特別展示のスケジュールや概要について紹介しています。また、パネルの内容や展示物の写真など、展示の一部を掲載し、東京霞が関まで足を運べなかった方々にも展示情報をお届けしています。

農林水産省ホームページ・トップ



農林水産省「消費者の部屋」へお越しの際は、北別館入口から入館していただくと、通行証無しで入室できます。皆様のお越しをお待ちしています。



東京メトロ「霞ヶ関」駅下車。A5、B3a出口すぐ。

平成27年11月発行

編集・発行 農林水産省 消費・安全局
消費者情報官「消費者の部屋」
担当：渡辺、橋本、結城、佐竹

相談電話 03-3591-6529
ファックス 03-5512-7651
子供相談電話 03-5512-1115
インターネット相談窓口：

<https://www.contact.maff.go.jp/maff/form/1c41.html>